

神戸朝日病院の取り組みについて

院長 金 秀基

院内感染防止対策

当院では院長直轄の感染防止対策部門を設置し、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行うため、以下の取り組みを実施しています。

1. 院内感染対策委員会を設置し毎月1回会議を行い、感染対策に関する事項を検討します。
2. 感染対策チーム（ICT）を設置し、感染防止対策の実務を行います。
3. 職員の感染防止対策に対する意識・知識・技術向上を図るため、マニュアルを各部署に配備し、全職員対象とした研修会を年2回以上行っています。
4. 薬剤耐性菌や院内感染対策上問題となる微生物の検出状況を報告し注意喚起を行います。
5. 院内感染が疑われる事例の発生時には、感染対策の徹底、調査を行い感染拡大の防止を図ります。また、他の医療機関と連携し各施設の感染対策に関する問題点を定期的に検討しています。
6. 感染症が流行する時期は、ポスター等の掲示物で情報提供を行います。

医療安全対策

当院では医療安全対策を病院全体として取り組み、医療事故発生の予防と発生時に速やかな対応を行うために以下の取り組みを実施しています。

1. 医療安全対策委員会を設置し、毎月1回会議を行い、医療安全対策に関する事項について協議を行います。
2. 院長直轄の医療安全対策部門を設置し、医療安全管理者を選任し医療事故防止対策の実践を行います。
3. 職員の医療安全対策に関する知見を深め、知識を共有し、医療技術向上を図るために、各部署にマニュアルを配備し、全職員対象とした研修会・講習会を年2回以上開催します。
4. 医療事故発生時の早期対応、原因調査ならびに再発防止のための対策を立案します
5. 医療ミスが疑われる事例の発生時には安全対策の徹底、事故調査を行い、医療事故防止に努めます。必要に応じて他の医療機関や行政機関と速やかに連携し対応します。
6. 医療の質を保ち、できる限り最良の医療を行うため、医療事故が発生しないような環境システムの構築を組織全体で目指します。
7. 医療安全に対するご相談は、地域医療連携室をはじめ、院内各部署と医療安全対策委員会が連携して行っています。
受付窓口または医療スタッフを通じ、医療安全管理担当者にお気軽にお申し出下さい。

禁煙外来

当院では、禁煙を行おうとしている方、禁煙を行おうとしてもなかなかやめられない等のお悩みの方に対し、禁煙のお手伝いができるよう禁煙外来を設置しています。ご希望の方は、主治医または受付までお申し出下さい。

透析患者様の下肢末梢動脈疾患に対する取り組み

当院では、慢性維持透析を受けておられる患者さまに対し、下肢末梢動脈疾患に関する検査を行っています。検査の結果、専門的な治療が必要を診断した場合には、その旨をご説明し同意をいただいた上で、専門的な治療体制を有している下記、保険医療機関へ紹介させていただきます。

※下肢末梢動脈疾患に関する連携医療機関：川崎病院 （神戸市兵庫区東山町3丁目3番1号）

栄養サポートチーム（NST）による診療

当院では、患者様の栄養評価や摂食嚥下評価を積極的に行い、栄養管理上の合併症予防と栄養改善に努め、適切で質の高い栄養サポートを実践するため、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー、医療事務など多職種の医療スタッフがチームとなり、週1回、カンファレンスや回診を実施しています。

抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の設置

ASTの医師、薬剤師等が、菌血症の患者様、耐性菌が検出された患者様、特定抗菌薬（カルバペネム・抗MRSA薬等）を使用中の患者様を対象に抗菌薬の使用についての診療支援を行います。

院内での採用抗菌薬の見直し、適切な微生物検査の推進（血液培養複数セット採取率の調査等）、当院でのアンチバイオグラム（主な菌種ごとの抗菌薬感性率）の作成、抗菌薬適正使用に関する職員の教育などを行います。

病院職員の負担軽減・処遇改善の取り組み

当院では、医師、看護師をはじめ職員の負担軽減のため、下記の取り組みを行っております。

業務協力・分担

- ・各種チーム医療体制の充実：栄養サポートチーム・褥瘡対策チーム・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）他
- ・多職種の病棟配置、専任の促進：薬剤師・医療ソーシャルワーカー・理学療法士・クラーク他
- ・医師事務作業補助者の配置：医師の事務作業軽減を図るため、外来、病棟に医師事務作業補助者（クラーク）を配置して書類の作成補助、電子カルテの代行入力などを行っています。

働きやすい職場環境の維持

多様な勤務形態の導入、短時間、曜日指定勤務職員の活用を行い、働きやすい職場環境の維持に取り組んでいます

2025年4月